

国際社会学部

国際政治学

international politics



どのような学問か

20世紀初頭に誕生した比較的若い学問分野。なぜ戦争が起こるのか、どうすれば戦争の悲劇を防ぐことができるのか、という学術的関心から始まった学問分野ですが、第二次世界大戦の終結、冷戦、植民地の独立、冷戦の終結、内戦の増加、大量破壊兵器やテロの脅威の拡大、振興国の台頭といったダイナミズムを経験し、また科学技術等の発展に伴い環境破壊や国際移動の複雑化など地球規模の問題群が生じる中で、国際政治学が扱う分野は多岐に亘るようになりました。伝統的には主権国家同士が出会う場でどのように秩序が形成されていくのかが主に問われてきましたが、現在では主権国家以外の行為主体（アクター）が国際政治の中で果たす役割も重要視されています。

外大の国際政治学

国際政治学自体は欧米を中心に発達してきた学問であり、国際社会の秩序の多くが欧米諸国に主導される形で作られてきたこともまた自明のことでしょう。しかし、現実に国際政治が直面している諸問題は欧米だけでなくアジア、中東、ラテンアメリカ、アフリカを覆っており、問題によっては、そうした国々こそが問題の主要なステイクホルダーとなることもあります。つまり、それらの地域に属する国々が国際政治の舞台においてどのような役割を果たしているのかを知ろうとする眼差しこそが、国際政治を真に理解するうえでは重要なのです。「外大の国際政治学」とは、まさにそうした眼差しを涵養することを目指した国際政治学であると言えるでしょう。

関連する授業一覧 一部抜粋（2023年度）

篠田 英朗

- 「国際秩序論」「紛争解決論」

武内 進一

- 「国際協力の史的展開」
- 「アフリカの紛争と平和構築」

中山 裕美

- 「国際政治理論」
- 「地域主義比較分析」
- 「グローバルガバナンス論と難民・移民問題」

吉崎 知典

- 「国際秩序と同盟」
- 「国際政治史と日本の安全保障」

その他

- 「戦後中国外交と東アジア情勢」
- 「日本外交論」「ヨーロッパ国際関係史」 など

ゼミ

■ 篠田英朗ゼミ

（平和構築と問題解決型学習）

■ 武内進一ゼミ

（国際社会の思想と行動）

■ 中山裕美ゼミ（国際協調論）

■ 吉崎知典ゼミ

（国際政治における戦争と平和）

関連する学問分野

■ 政治学

■ 国際法

■ 国際経済学

■ 開発経済学

おススメの本

■ デイビッド・ヒューム『貧しい人を助ける理由—遠くのあの子とあなたのつながり』日本評論社、2017年。

■ 高坂正堯『世界地図の中で考える』新潮社、2016年【没後二十年記念復刊】。